

# 新型コロナウイルスの府内発生状況①（10月13日時点）

参考資料 3

<大阪府内の検査陽性者の状況>

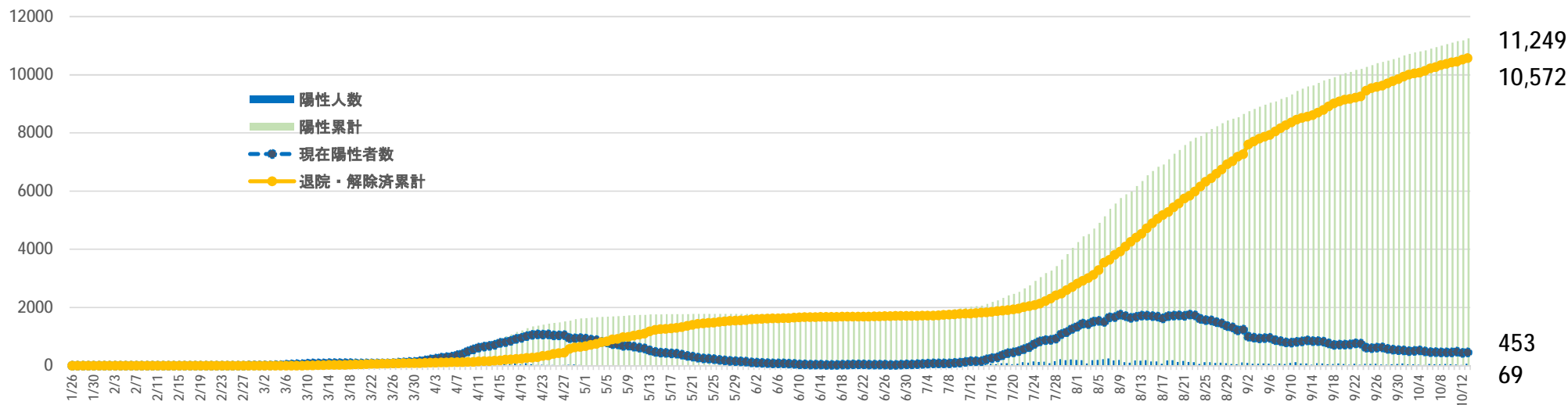
R2.10.13 現在

検査件数	陽性者数 累計	現在陽性者数		入院調整中			自宅療養	宿泊療養	療養等 調整中	死亡	退院・解 除済 累計
		入院中	重症	入院調整中							
				入院 待機中	入院もしく は療養方法 の調整中						
204,284	11,249	453	193	21	0(0)	70	55	93	26	224	10,572
前日比 2,109	69	17	5	-1	0(0)	2	8	-9	8	0	52

※大阪府外で健康観察を実施している事例：16件

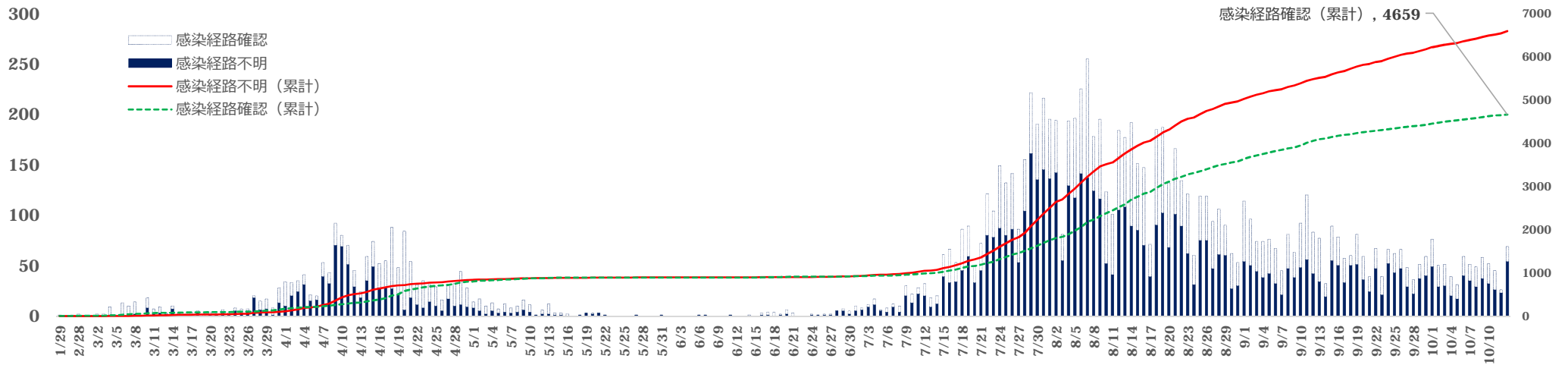
※入院待機中のうち、カッコ内は「確保病床以外の病床に入院中」の方

<新型コロナウイルスの発生状況等>

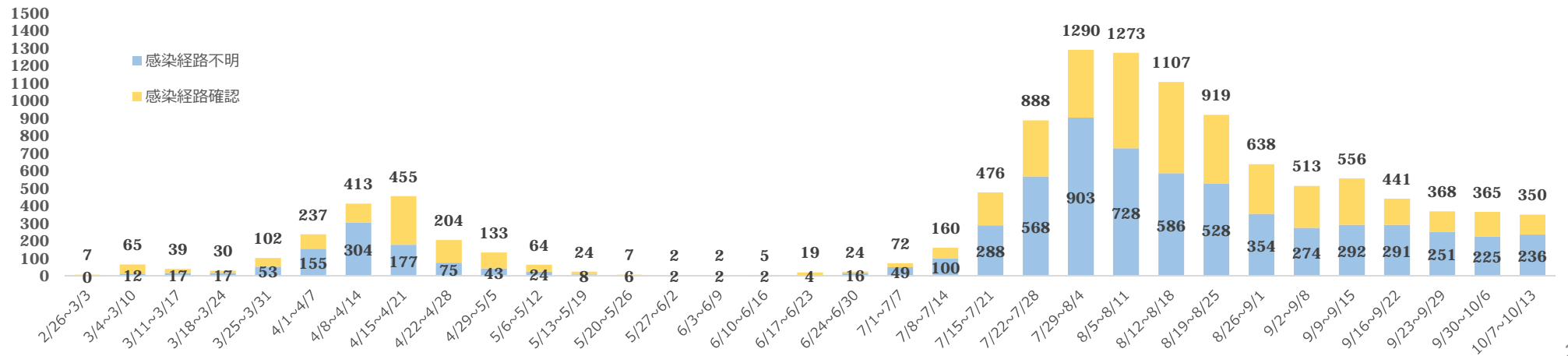


# 新型コロナウイルスの府内発生状況②（10月13日時点）

## < 陽性者数の推移 >

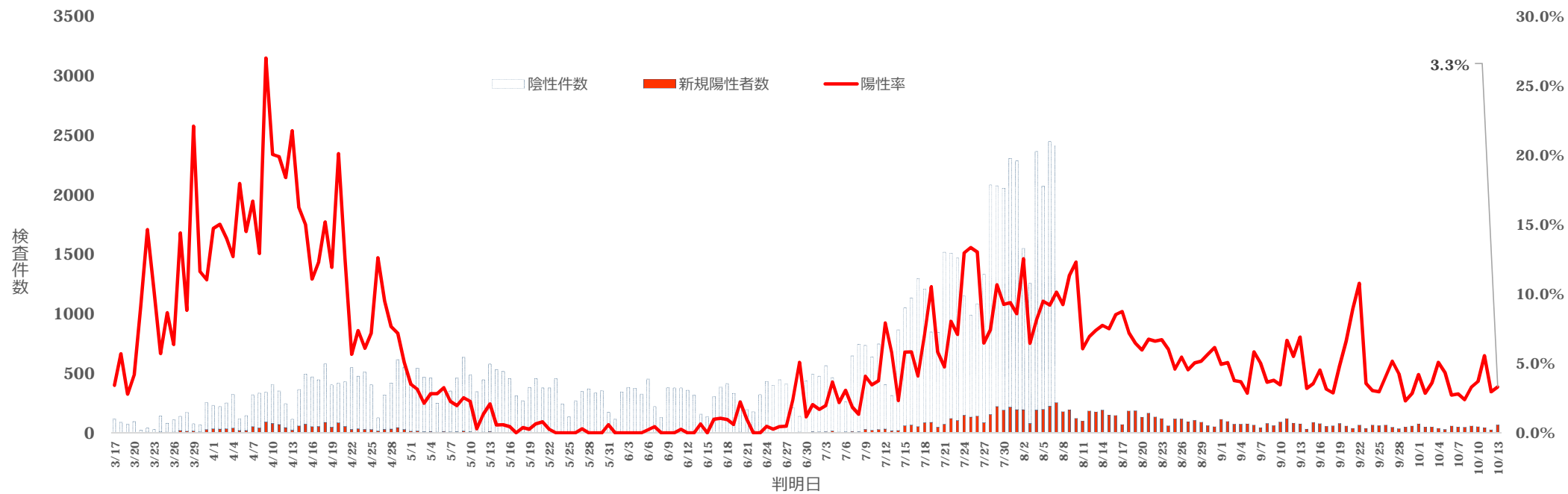


## < 7日間ごとの新規陽性者数の推移 >



# 新型コロナウイルスの府内発生状況③（10月13日時点）

< 検査件数（陰性確認除く）と陽性率の推移 >

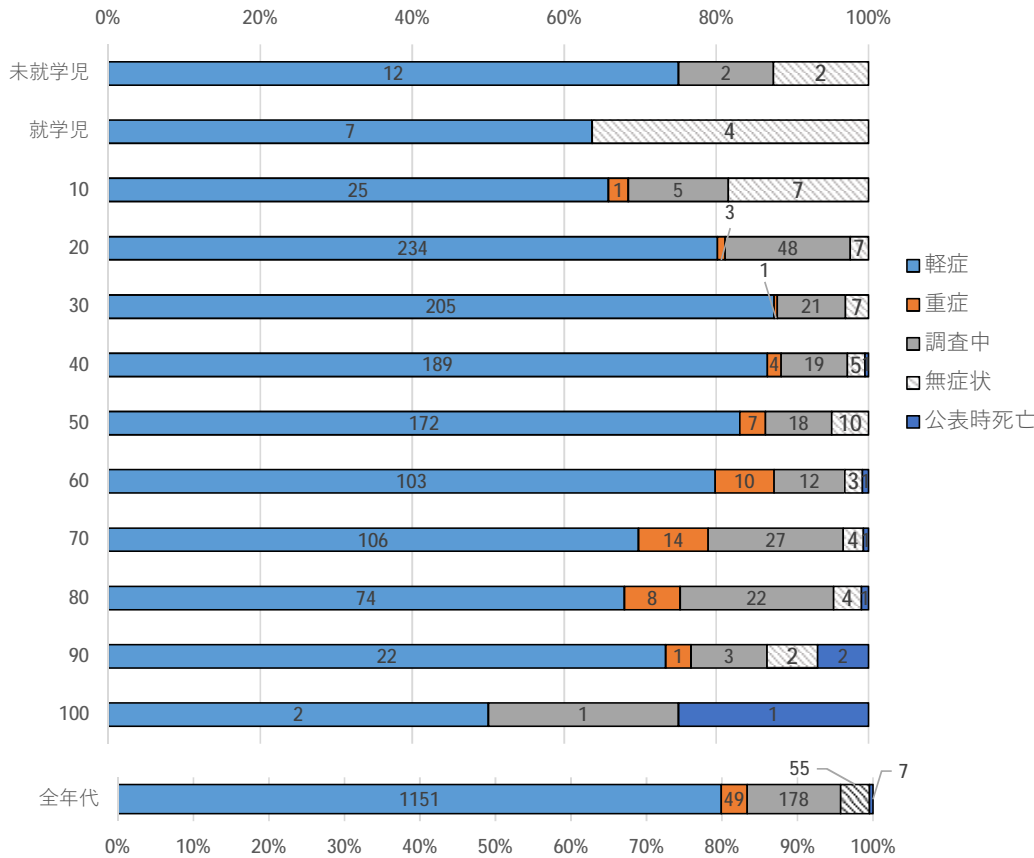


# 年代別症状(判明日時点)

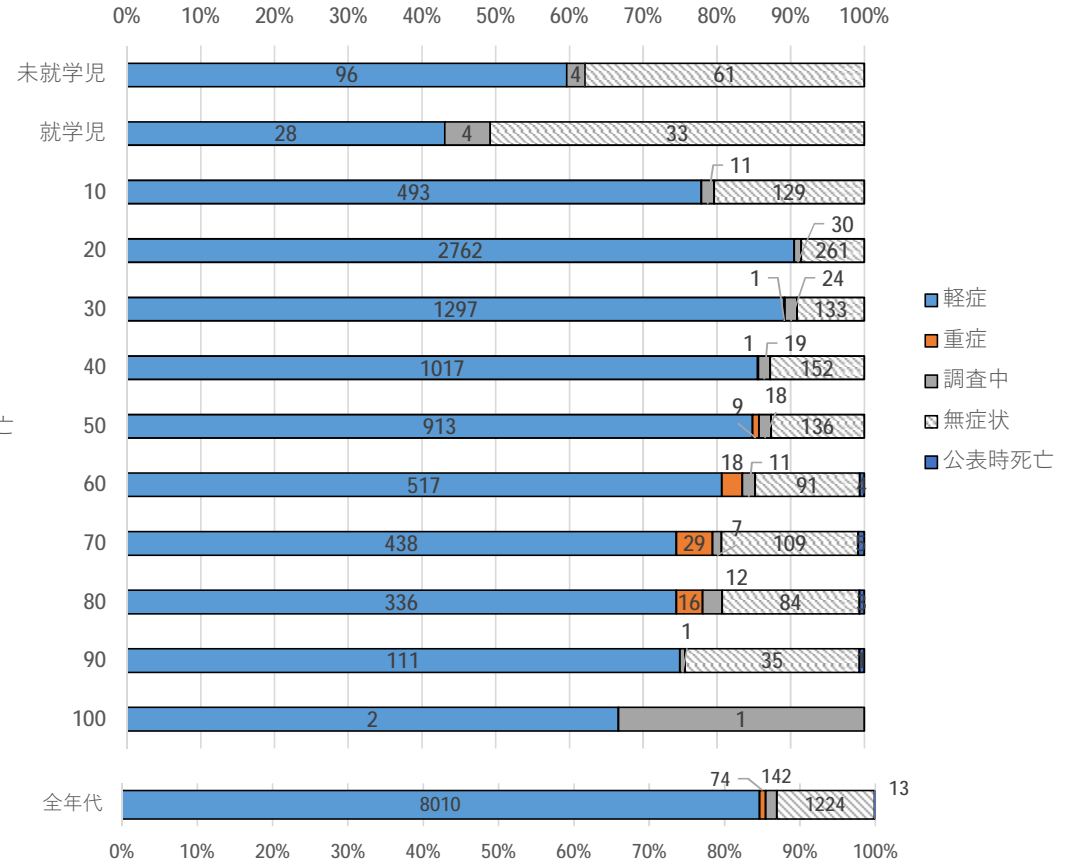
※R2.1.29～6.13を「第一波」、  
6.14以降を「第二波」と総称

U 第一波に比べ、第二波は、濃厚接触者全員を早期に検査したことにより、無症状者の割合が多い。

4月4日～6月13日 年代別症状割合



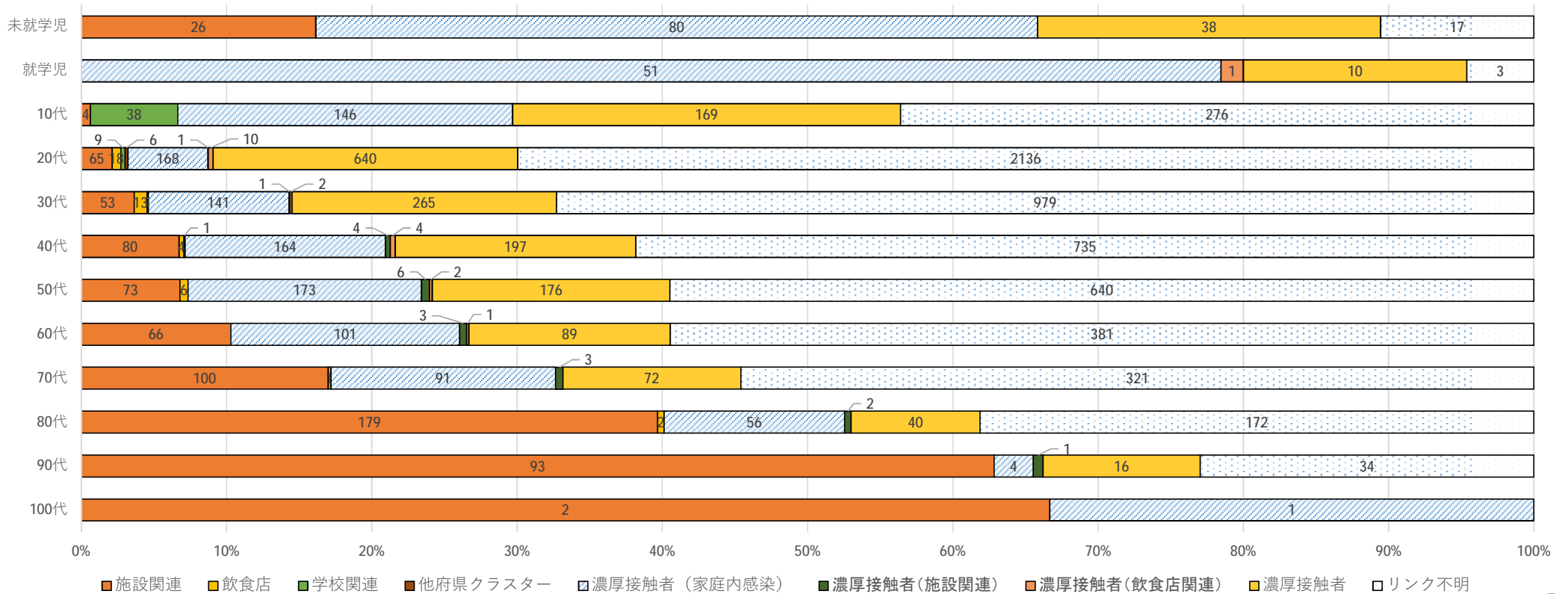
6月14日～10月13日 年代別症状割合



## 【第二波】年代別感染経路

U 第一波と同様、未就学児・就学児は家庭内感染が多く、80代以上は施設関連（高齢者施設、院内感染）が多い。また、第二波では、10代以上でリンク不明の割合が多い。

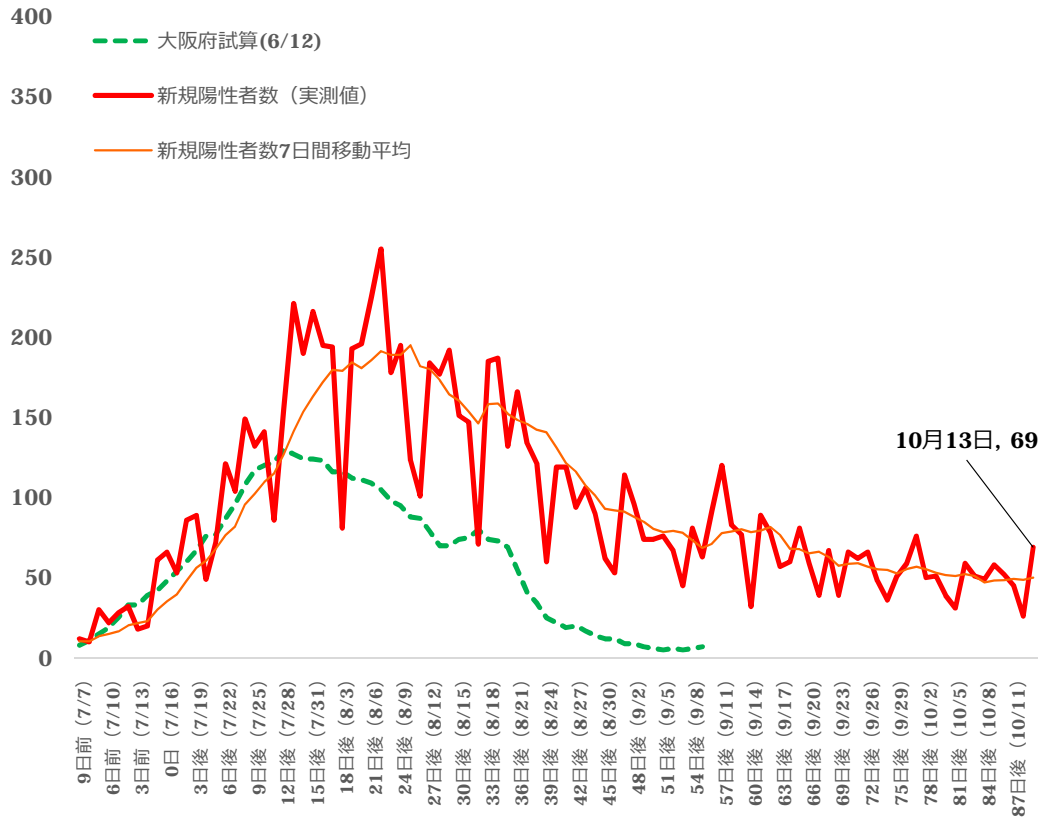
（6月14日以降10月13日までに判明した9,463事例の状況）



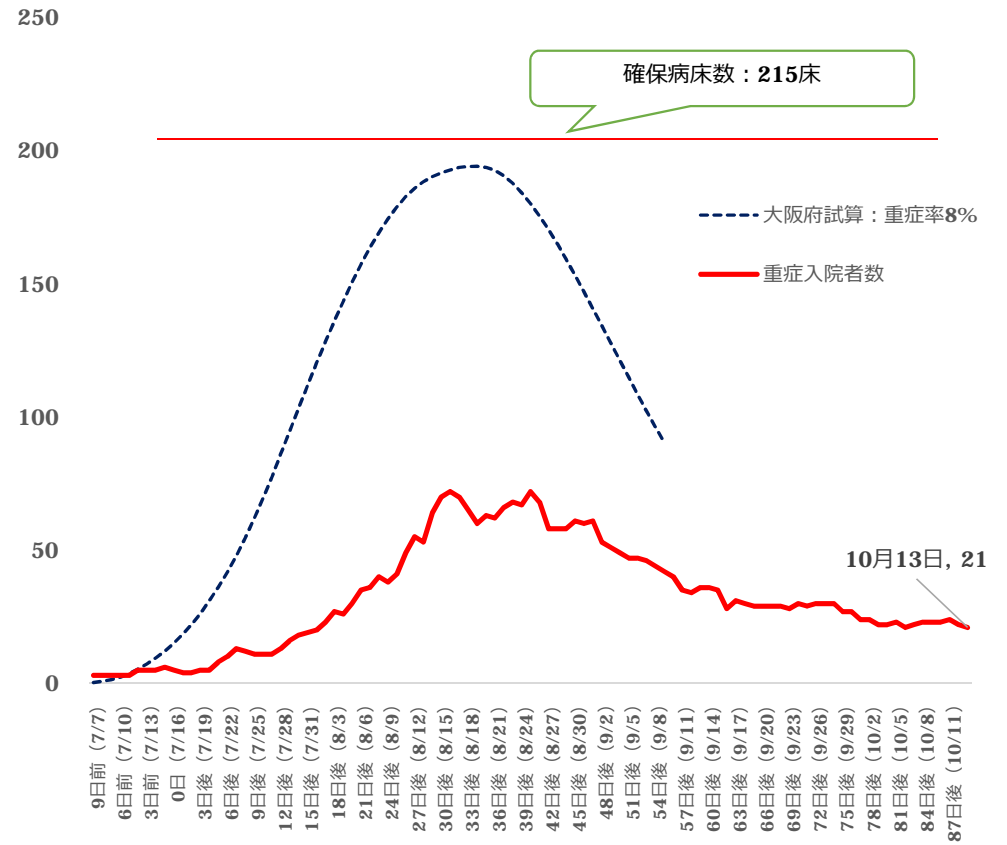
## 入院・療養状況 大阪府が試算した数値との比較①

- ◆ 第二波は、国が提示した試算モデルとは異なる波を描き、6/12専門家会議に提示した予測と類似の波の曲線を描いているが、試算よりは大きく上振れした。
- また、第一波に比べ、感染漸増期は若者の感染が多かったことから、重症入院患者は府試算より遅れて発生。

新規陽性者

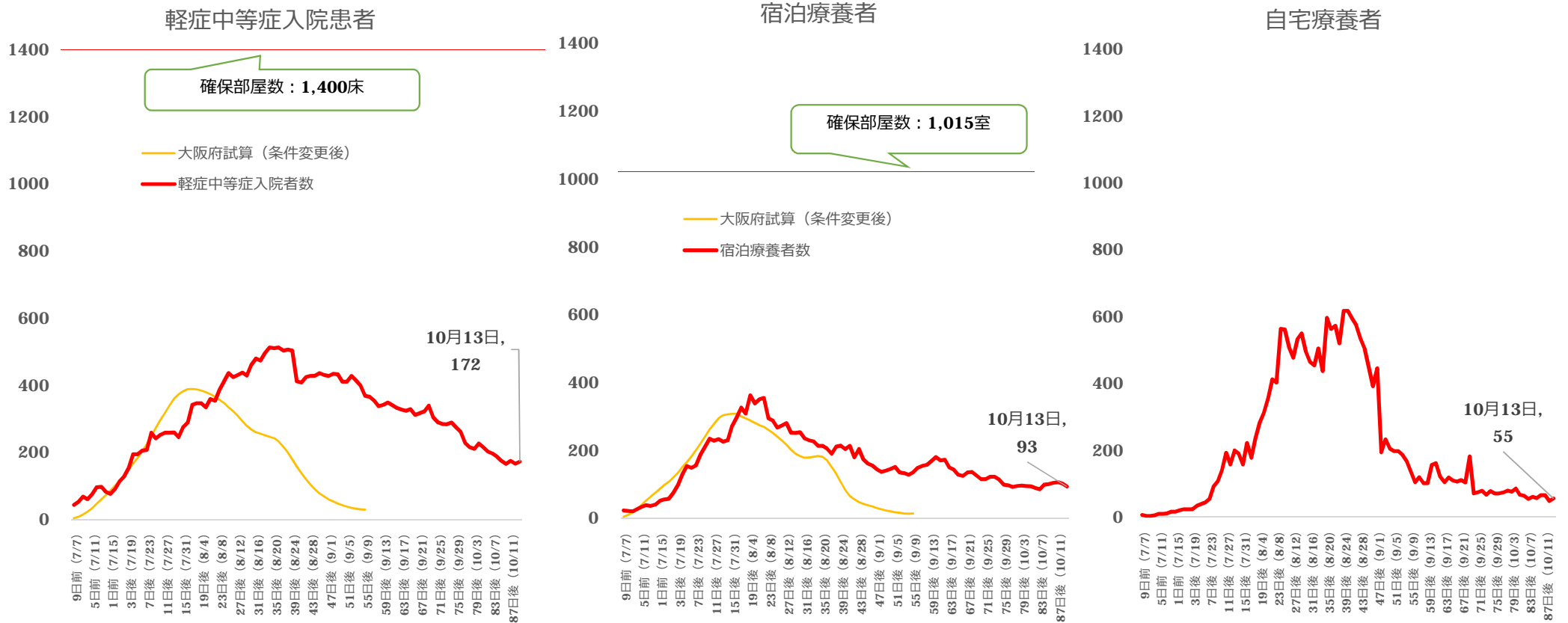


重症入院患者



# 入院・療養状況 大阪府が試算した数値との比較②

U 軽症中等症入院患者及び宿泊療養者については、試算を上回るペースで増加した。

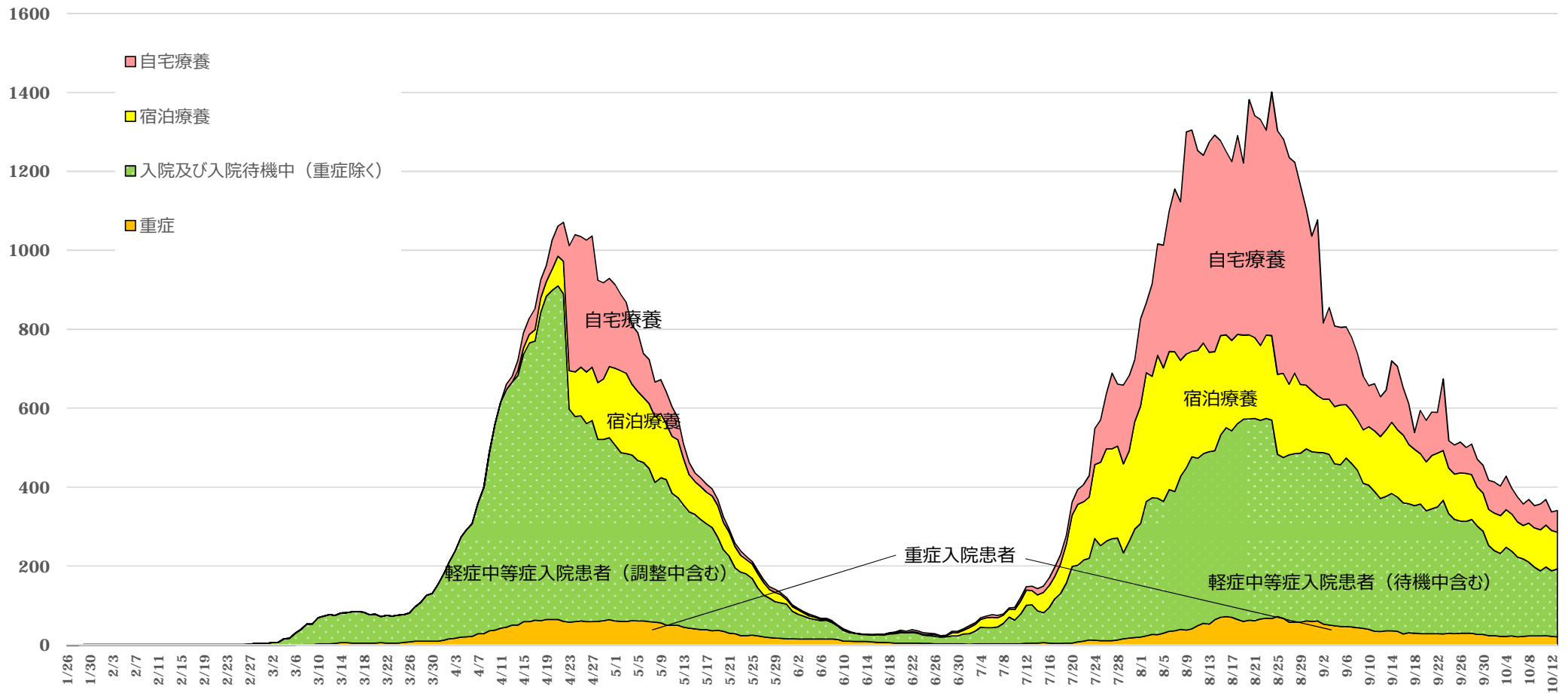


**【大阪府試算に関する補足】**

○軽症中等症入院患者及び宿泊療養者の「条件変更後」は、6月12日府専門家会議で提示した患者の療養期間から、6月14日から7月21日までに判明した患者の退院・解除までの日数に条件を変更したもの

# 第一波及び第二波の療養状況の推移

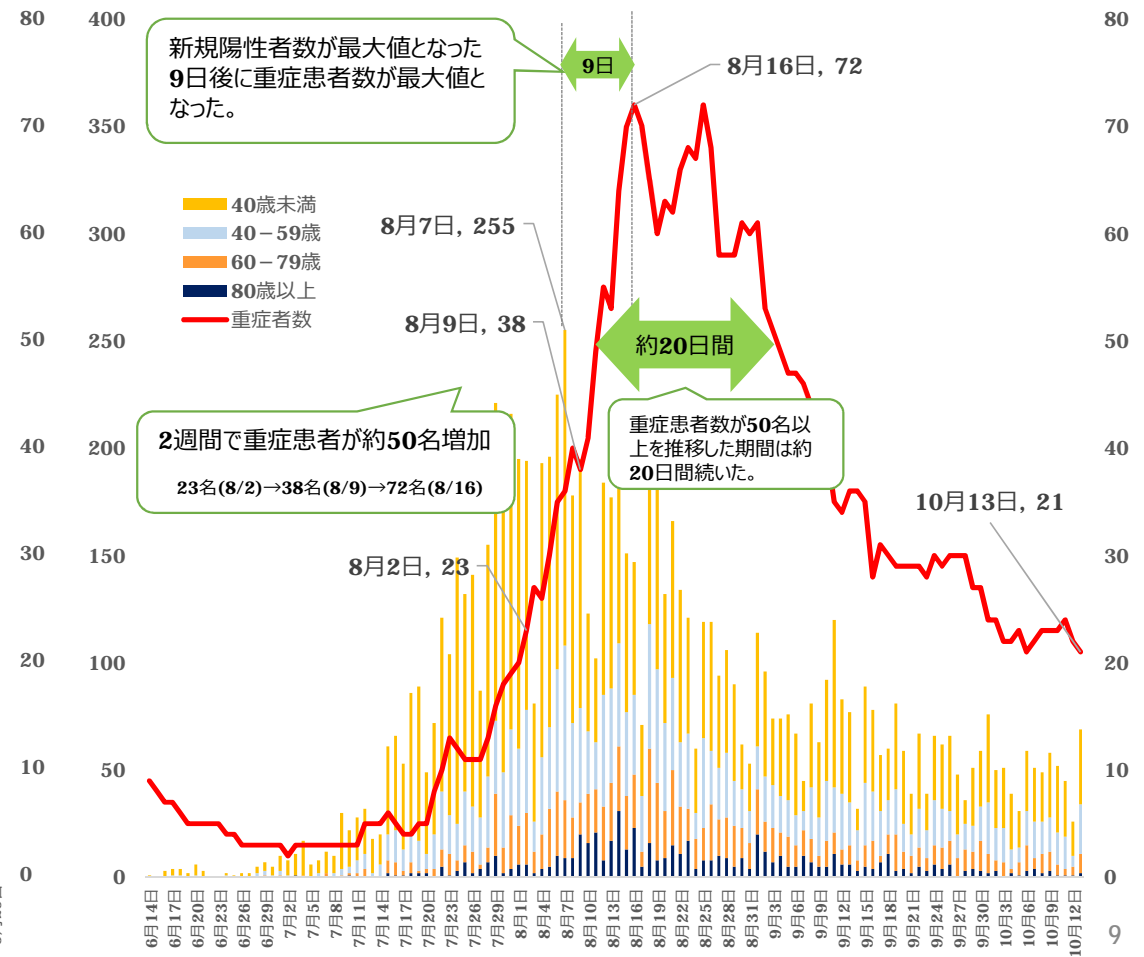
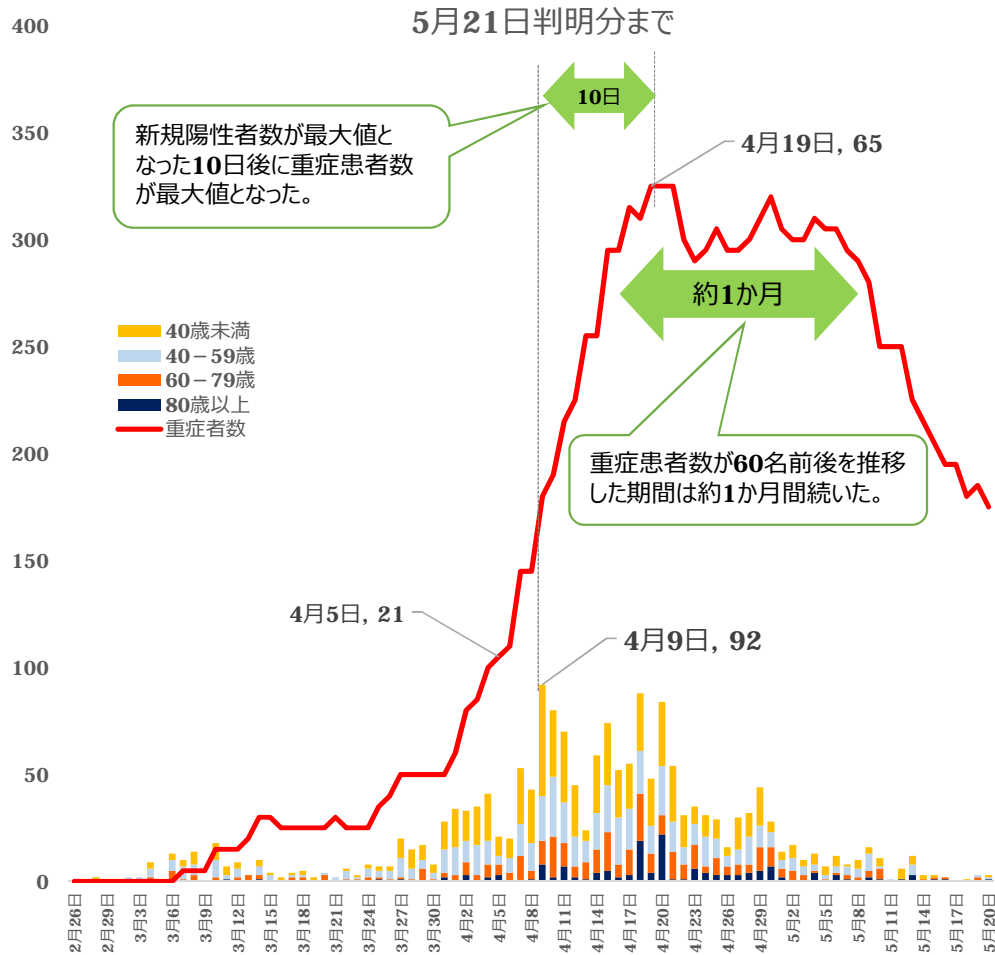
◆ 第一波に比べ、第二波では若者の陽性患者が多かったことから、宿泊療養・自宅療養が多い。





# 第一波及び第二波の陽性者の年齢区分と重症者数の推移（10月13日時点）

◆ 第一波、第二波ともに、新規陽性者数が最大値になった後、10日前後で重症者数が最大値となった。また、第二波は第一波に比べ、重症者数が50名以上を推移した期間が10日程度短い。

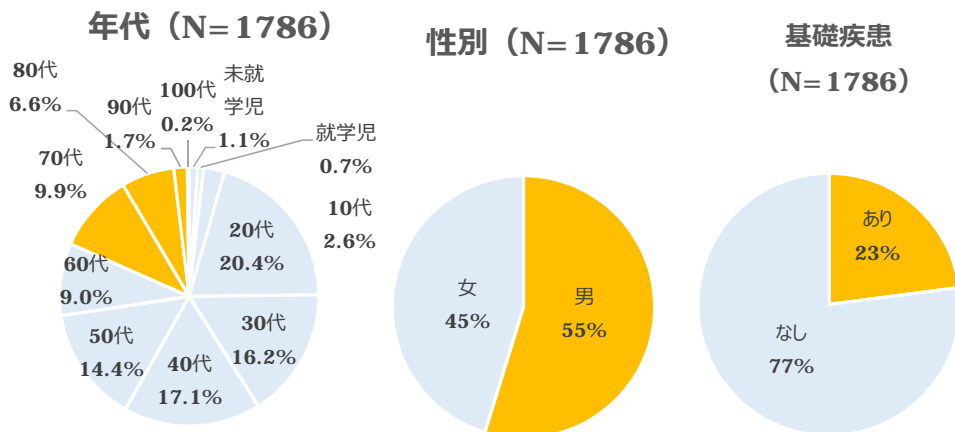


# 第一波及び第二波の死亡例の年齢・性別・基礎疾患の有無（9/21時点）

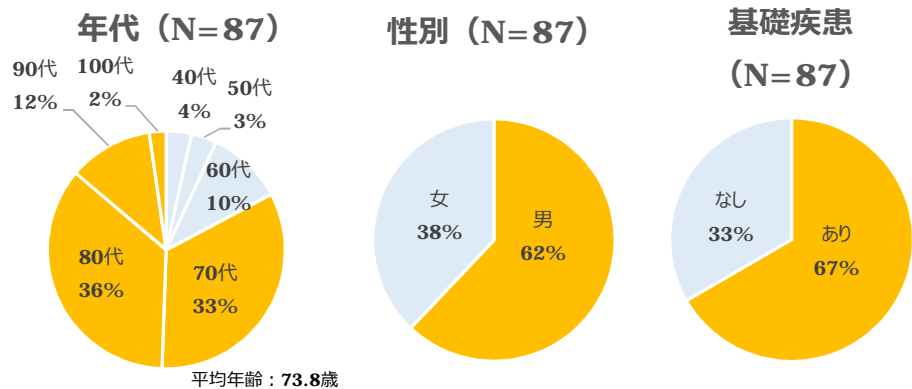
第一波と第二波では、年代・性別・基礎疾患の有無の割合に差はなく、70代以上の高齢者や基礎疾患を有する者の割合が高かった。

## 第一波

陽性者（全体）

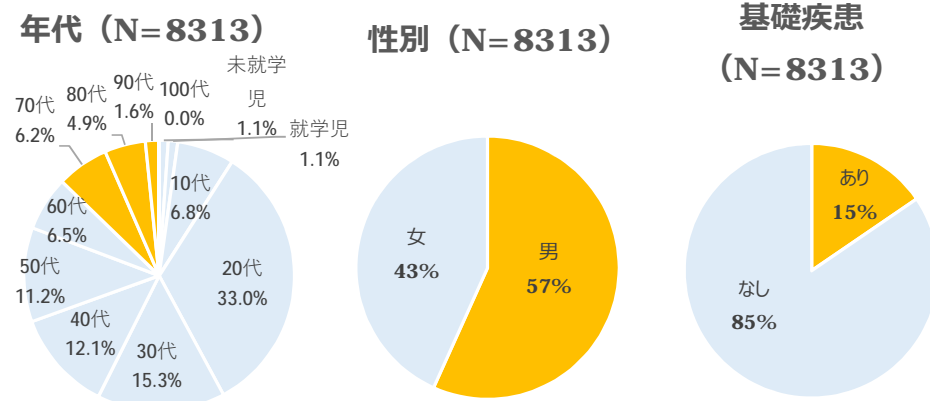


死亡例



## 第二波

陽性者（全体）



死亡例

